

西宮メダカ 1000匹に 在来種、市の繁殖事業30年

537 「西宮メダカ」を存じだうか。西宮市周辺の武庫川水系で生息する固有のメダカを同市などが「名付け、約30年前から繁殖に取り組んでいる。市内の大学とも連携し、千匹以上に増やした。

(斉藤絵美)

3カ所で生息 大学と連携も

西宮メダカは同市周辺で捕獲したメダカで採取されたものを増やし、庁舎内の水槽で展示してきた。戸内亜群」に属する。93年からは市内の幼稚園、小中学校などに配布。庁舎内の水槽を減らした2005年までの緩やかな水路などで生息し、自然環境の悪化と外来種の出現で、街中ではあまり見られなくなっている。

メダカの絶滅を危惧した同市が、1988年から繁殖を開始。市

市民に協力呼び掛け

約10年前からは神戸女学院大(西宮市岡田山)と連携し、遺伝子調査なども実施。一昨年から繁殖を開始。市

西宮メダカは、阪急西宮北口駅前の同市環境学習サポートセンター(同市甲風園1)内の水槽で展示されている。

水槽内を泳ぐ西宮メダカ。繁殖活動から30年目を迎える＝西宮市甲風園1

西宮メダカ(西宮市環境学習サポートセンター提供)

